

**県内における令和7年(1~12月)の火災発生状況【速報値】がまとまりました。**

- ① 火災の全出火件数は544件となり、前年に比べ35件増加しましたが、火災による死者は26人で前年より6人減少しました。
- ② 記録的な少雨と高温、日照時間増加が重なった7月に火災が最も多く発生しました。
- ③ 火災による死者のうち高齢者の占める割合は、依然として高い状態が続いています。

令和7年においては、全火災の出火原因は「たき火」が最多で、記録的な少雨となった7月に多く発生しました。

また、住宅火災の原因は「ストーブ」が最多で、燃えやすい物を周囲に置かない、ストーブの上に洗濯物を干さない等、注意しましょう。

火災による死者を減らすためには、火災の早期発見が重要であり、住宅用火災警報器が有効です。設置に加え、定期的な点検と設置後10年を目安とした交換により、火災への備えをお願いします。

令和7年の速報値は別添のとおりです。

県全体の概要は以下のとおりです。

**1 全出火件数は544件、全死者数は26人（図1参照）**

- ・ 全出火件数は544件で、前年より35件増加しました。  
(平成27年～令和6年の過去10年間の平均は541件)
- ・ 全死者数は26人で、前年より6人減少しました。  
(平成27年～令和6年の過去10年間の平均は35人)

**2 火災発生のピーク（図2参照）**

記録的な少雨と高温、日照時間増加が重なった7月の出火件数が最多でした。

**3 放火自殺等を除く死者のうち高齢者が占める割合は77.3%（図3参照）**

放火自殺等を除く死者のうち65歳以上の高齢者の死者数は17人で、前年と同数でした。高齢者の占める割合は、依然として高い状態が続いています。

(平成27年～令和6年の過去10年間の平均は73.1%)

#### 4 全火災の出火原因は、たき火が最多（図4参照）

全火災544件の出火原因は、「たき火」が37件で最も多く、次いで「たばこ」が35件、「こんろ」が34件となっています。

#### 5 住宅火災の出火原因は、ストーブが最多（図5参照）

住宅火災176件の出火原因は、「ストーブ」が25件で最も多く、次いで「こんろ」が18件、「配線器具」が13件となっています。

#### <参考> 住宅用火災警報器の設置率（令和7年6月1日時点）

	新潟県	全国	順位
設置率(注1)	90.4%	84.9%	第4位
条例適合率(注2)	73.0%	65.8%	第4位

注1 設置率とは、県内市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている寝室と階段（寝室が2階以上にある場合）のうち、一箇所以上設置されている世帯（条例適合世帯を含む。）の全世帯に占める割合をいいます。

注2 条例適合率とは、県内市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている寝室と階段（寝室が2階以上にある場合）の全てに設置されている世帯（条例適合世帯という。）の全世帯に占める割合をいいます。

なお、県内の住宅用火災警報器の調査においては、作動確認を行った世帯のうち3.8%で、電池切れや故障が確認されました。

県では、消防本部など関係機関と連携し、住宅用火災警報器の設置並びに定期的な点検、設置後10年を目安とした交換を呼びかけています。

※ 住宅用火災警報器の設置方法など詳しいことは、県のHP等をご覧ください。

（県ホームページ） <https://www.pref.niigata.lg.jp/shobo/1250539425278.html>



担当：予防係 上迫、渡邊

TEL：025-282-1665（内線 6444）

FAX：025-282-1667

e-mail：ngt130020@pref.niigata.lg.jp

## 令和7年(1~12月)の県内における火災発生状況概要

区分/年別	令和7年		令和6年	過去10年平均※5	
	令和6年との比較	過去10年平均との比較			
全出火件数(件)	544	35 ( 6.9 %)	3 ( 0.6 %)	509	541
建物火災	313	-9 ( -2.8 %)	-46 ( -12.8 %)	322	359
住宅火災	176	-19 ( -9.7 %)	-31 ( -15.0 %)	195	207
林野火災	12	-4 ( -25.0 %)	-5 ( -29.4 %)	16	17
車両火災	80	32 ( 66.7 %)	19 ( 31.1 %)	48	61
船舶火災	0	0 ( — )	-1 ( 皆減 )	0	1
航空機火災	0	0 ( — )	0 ( — )	0	0
その他火災※1	139	16 ( 13.0 %)	36 ( 35.0 %)	123	103
全死者数(人)	26	-6 ( -18.8 %)	-9 ( -25.7 %)	32	35
放火自殺等を除く※2	22	-1 ( -4.3 %)	-4 ( -15.4 %)	23	26
建物火災	16	-6 ( -27.3 %)	-8 ( -33.3 %)	22	24
住宅火災	16	0 ( 0.0 %)	-6 ( -27.3 %)	16	22
放火自殺等	4	-5 ( -55.6 %)	-4 ( -50.0 %)	9	8
高齢者の死者数(人)※3	19	-4 ( -17.4 %)	-3 ( -13.6 %)	23	22
放火自殺等を除く	17	0 ( 0.0 %)	-2 ( -10.5 %)	17	19
建物火災	12	-4 ( -25.0 %)	-5 ( -29.4 %)	16	17
住宅火災	12	-1 ( -7.7 %)	-4 ( -25.0 %)	13	16
放火自殺等	2	-4 ( -66.7 %)	-1 ( -33.3 %)	6	3
負傷者数(人)	95	-4 ( -4.0 %)	-17 ( -15.2 %)	99	112
損害額(百万円)	1,223	-1,176 ( -49.0 %)	-651 ( -34.7 %)	2,399	1,874
焼損棟数(棟)	504	-41 ( -7.5 %)	-117 ( -18.8 %)	545	621
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	20,160	-14,628 ( -42.0 %)	-15,266 ( -43.1 %)	34,788	35,426
出火率※4	2.58	-0.45 ( — )	0.16 ( — )	2.38	2.42

※1 その他火災は庭や田畑、河川敷などで出火した火災

※2 放火自殺等：放火自殺者、放火自殺の巻添者及び放火殺人の犠牲者

※3 高齢者：65歳以上の人

※4 出火率：人口1万人当たりの出火件数

※5 過去10年平均は平成27年から令和6年までの平均

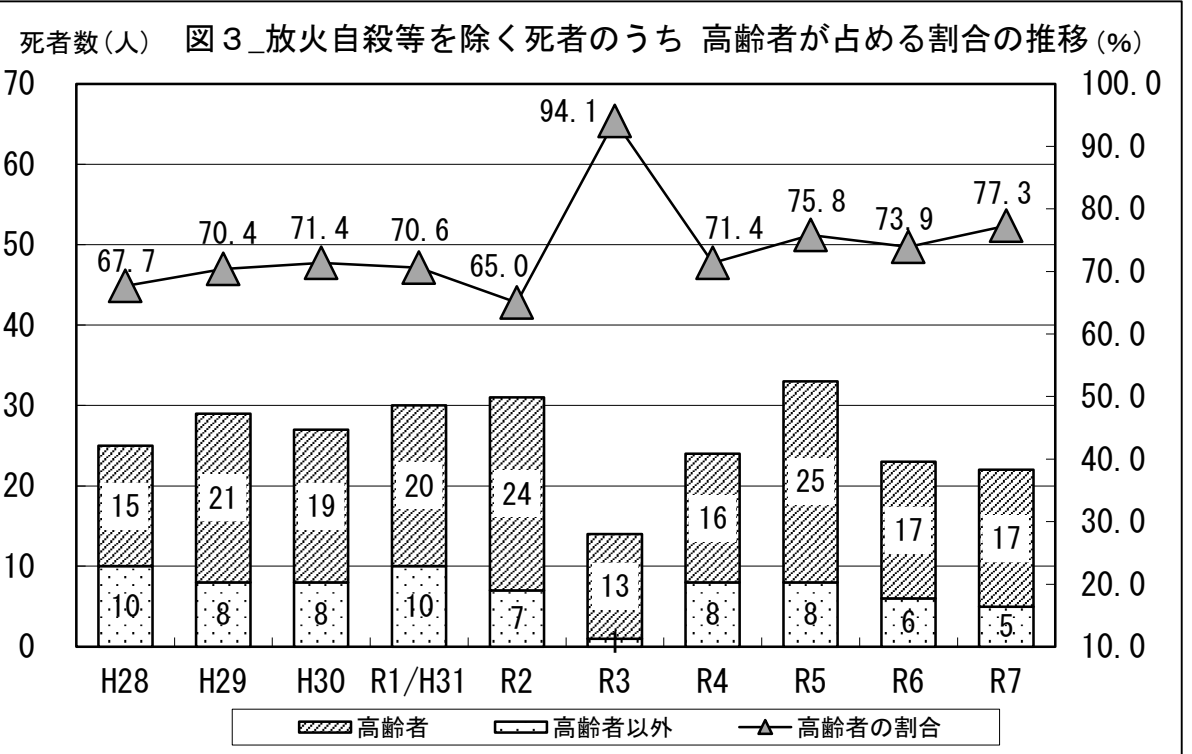
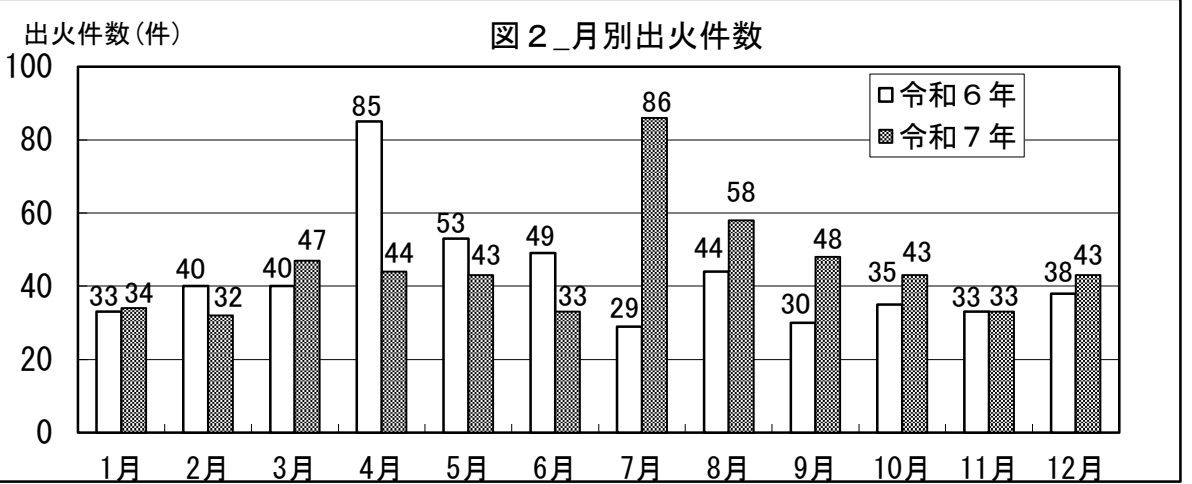
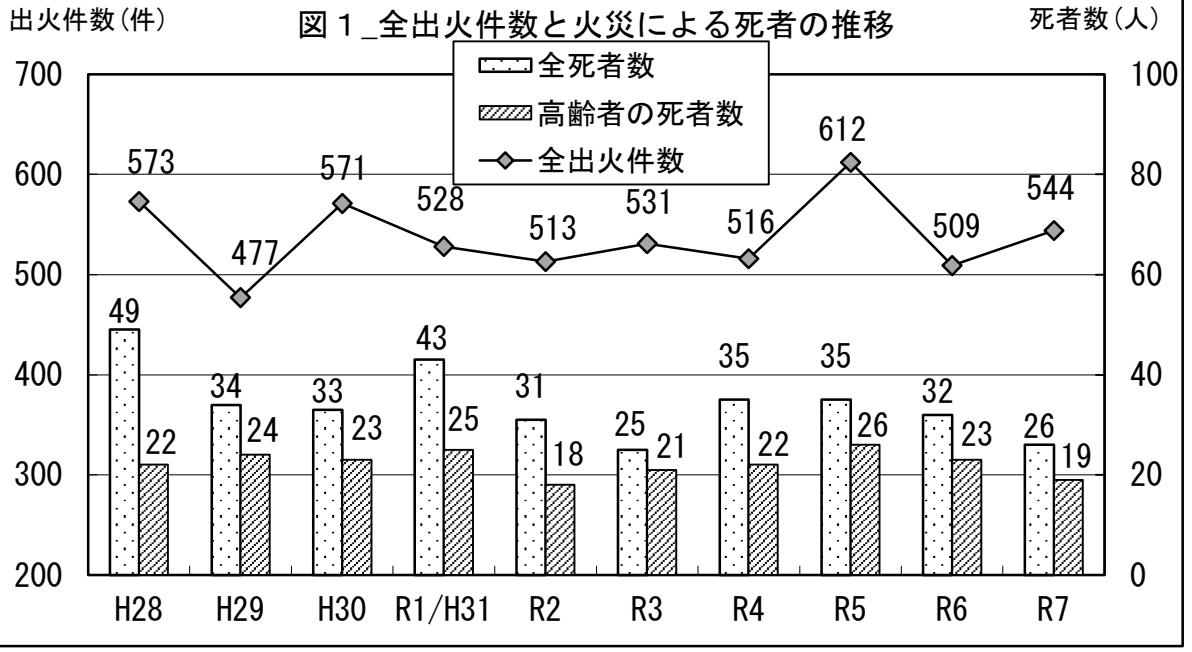


図4\_全火災の出火原因

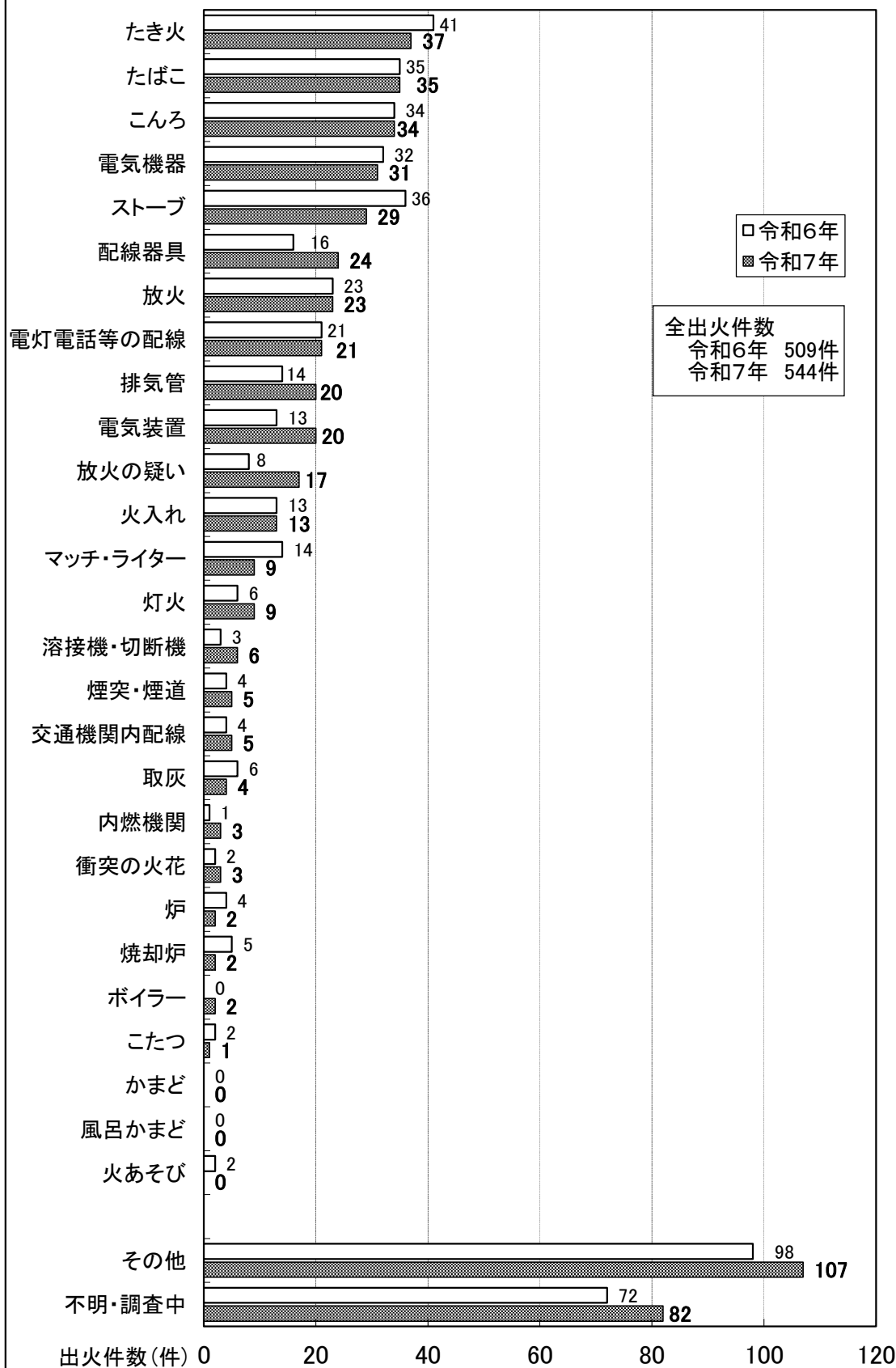


図5\_住宅火災の出火原因

